

2023 明治安田生命 J3 リーグ 第 26 節 vs. テゲバジャーロ宮崎

9/9 (土) 18:00 kick off @岐阜メモリアルセンター長良川競技場



2023 J3 順位表 第25節

勝点、得失点差、得点、失点、岐阜戦の戦績 (岐阜から見て)

1	愛媛	48p	+7	38	31	A●	H△
2	富山	40p	+5	37	32	HO	
3	沼津	39p	+8	34	26	A△	
4	FC大阪	39p	+7	26	19	H●	
5	奈良	38p	+12	31	19	A●	
6	鹿児島	38p	+6	36	30	HO	A●
7	岐阜	37p	+9	32	23	---	---
8	今治	37p	+8	35	27	H△	A○
9	八戸	37p	+3	31	28	A●	
10	松本	33p	+5	39	34	H△	
11	岩手	33p	+4	31	27	H△	
12	鳥取	33p	0	36	36	A○	HO
13	福島	33p	-4	24	28	A○	
14	宮崎	31p	-9	21	30	A●	
15	讃岐	31p	-13	18	31	A○	
16	YS横浜	30p	-5	33	38	H●	A●
17	長野	30p	-11	31	42	H△	A○
18	琉球	28p	-16	26	42	HO	
19	相模原	26p	-5	28	33	HO	
20	北九州	20p	-11	20	31	A△	

次回HomeGame

第29節 vs. 福島ユナイテッド

10/1 (日) 14:00

@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

大酒場 ホームラン

名鉄岐阜駅前 (三菱UFJ銀行隣り)
年中無休 午後3時から営業

TEL.058-263-5201

「いらっしゃいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。
休:月曜日

今日もここから
串かつで一杯

煮込み珍道中
串かつ

14:30 ~ 22:00
※売り切れ次第、終了です
火、水、金、土 (祝日除く) 営業
TEL. 058-252-1580

忠節橋
通り

JR 岐阜駅
北口より
北西方面へ
徒歩約 10 分

★

アミカ

ドミー
イン

+

JR
岐阜駅

today's guest : テゲバジャーロ宮崎

2022 J3 12勝10分12敗 勝ち点46: 9位

直近の対決と結果

2023/04/30
J3 - 8 節 @ ユニスタ

宮崎 2-1 岐阜

田口裕也 scored.

ここ 3 試合の公式戦の結果

FC岐阜	テゲバジャーロ宮崎
2023/09/02 J3 - 25 節 @ 白波スタ 鹿児島 2-1 岐阜	2023/09/02 J3 - 25 節 @ ユニスタ 宮崎 0-1 讃岐
2023/08/26 J3 - 24 節 @ 長良川 岐阜 3-1 鳥取	2023/08/26 J3 - 24 節 @ ユニスタ 宮崎 0-2 福島
2023/08/19 J3 - 23 節 @ 長野 U 長野 1-5 岐阜	2023/08/19 J3 - 23 節 @ A x i s 鳥取 2-0 宮崎

● 8月に入り、再び復調の兆しを見せ始めたFC岐阜。8/26 (土) 第24節・ホーム鳥取戦では、CKで#8窪田稜が先制点を奪うと、その直後にオウンゴールで追加点を得て、前半を折り返す。後半には#45ンドカ・チャールスが3点目。その後に鳥取に1点を返されて劣勢を強いられるが、ここで雷雨により中断。約50分のインターバルにも助けられつつ、#10庄司悦大の退場による劣勢にも耐えて、3-1で勝利。これで今季2度目の3連勝を達成した。続く9/2 (土) 第25節・アウェイ鹿児島戦で今季初の4連勝を目指す岐阜だったが、鹿児島の両サイドからの攻撃に苦しめられる一方、岐阜の攻撃はなかなか機能しない。前半終了間近にCKを得るが、逆にそこからカウンターを決められて失点。そして再開のキックオフ直後のプレーで集中力を欠き、2失点目を喫して前半を折り返す状況に。後半も岐阜は鹿児島の攻撃に苦しめられ、選手交代の後、ようやくFKから#39遠藤元一のゴールで1点を返し、同点に追いつくべく迫るものの、反撃はそこまで。1-2で敗れ、またしても4連勝を達成することはできなかった。

さて、この2試合では勝点3しか積み上げられなかったFC岐阜。順位は4位から7位に後退してしまっただけ。ただし、直近2試合で首位・愛媛が1勝1分、2位・富山は連敗したため、首位・愛媛との勝点差は11と少し離されてしまったものの、2位 (= J2昇格圏) の富山とは、勝点差3。現在の得失点差では岐阜の方が有利なため、1試合で追いつくことが出来る順位に何とか踏みとどまっている。一方で、その2位・富山との勝点差3以内に9位・八戸までが、勝点差7に13位・福島までが追いついてきており、今季のJ3の大混戦ぶりには拍車が掛かっている。1試合の勝敗あるいは得失点だけで、大きく順位が上下する厳しく苦しい状況は、まだまだ続くだろう。前節の敗戦を教訓にして、再びチーム・クラブ・サポーターが一丸となって、目の前の1試合を常に全力で戦って勝つという目標に向かって進むしかない。まずは今節この試合で、勝利することが本場に重要だ。

さて、今節の対戦相手は、テゲバジャーロ宮崎だ。J参入初年度の一昨年は3位と大活躍したが、昨季は選手たちの大量流出などで9位に終わった。今季はゾーンディフェンスの構築で定評のある松田浩史を監督に新たに招へい、大幅に入れ替わった選手たちと共に、守備からチームの再建を図っている。今季も序盤はなかなか勝てない試合が続いたが、徐々に順位を上げ、一時は8位にまで上昇。ところが、そこから3連敗を喫してしまい現在は14位。ただし、岐阜との勝点差は6。ここで巻き返しを図るために、全力を尽くしてくる相手だが、このホーム戦で巻き返さなければならないのは、岐阜も同様だ。

宮崎との通算対戦成績は、岐阜の2勝3敗・12得点10失点。昨季のホーム戦である11/6 (日) 第32節では、試合終盤に決勝点を与えてしまい、1-2で敗戦。そして前回対戦である今季の4/30 (日) アウェイ宮崎戦でも、立ち上がりから失点すると、ボールの競り合いに勝てず、前半だけで2失点。後半A Tに#48田口裕也が意地の1点を返すが、そこまで。2試合連続で宮崎に敗れている。宮崎を相手にシーズン“ダブル”など許されるはずもなく、今節は快勝してリベンジを果たさなくてはならない。

宮崎で最も警戒すべき選手には、現在7得点の#42南野遥海を挙げる。また、昨季は岐阜に在籍していた#16石津大介も4得点と好調、しかも先述の前回対戦では“恩返し弾”が決勝点となっている。今節こそは、活躍させる訳にはいかない。一方の岐阜での注目は、やはり#11藤岡浩介だ。一昨年までの5年間、宮崎に在籍した選手こそが、この試合で“恩返し弾”を決めてくれることを期待したい。また、今節は岐阜の左SBが定位置だった#3宇賀神友弥と、宮崎の右SBで主戦の#2青山生の2選手が累積警告で出場停止となる。代わりに誰を起用するのかなど、両監督の起用・采配にも注目したい。

いくら猛暑は和らいだが、それでも蒸し暑い日は続いている。そして、不安定な大気の影響で、前回の鳥取戦のように試合の中断あるいは中止の可能性が高まる季節だ。今節も、選手たちも僕らも心身共に厳しい試合になるだろう。だが、ホーム戦で勝つことが、多くのサポーターの声援を受けて勝つことが、これからのJ3優勝争い・J2昇格争いのためには絶対に必要だ。今節も、最後まで走り続ける岐阜の選手たちを信じて、最後まで背中を後押しする応援を続けよう。そして今節も、勝利の歓喜と共に“HYPER CHANT”を、選手たちと共に歌おう。(ささたく)

投稿募集!! gidaidohri@gmail.com

【第24節】岐阜3-1鳥取

●試合途中で雷による中断もあった中、まずは試合が最後まで無事行われたことに感謝。残り20分くらいで中止になって、そのためにまた足を運ばなければならないのは大変だしね。試合でまず目立ったのは、ンドカ・チャールスの前線からの守備。時にはボールホルダーに付いて中盤まで下がってきたりして、あそこまでやってくれると後ろの選手は助かるし、ラクだよ。そして村田透馬のドリブル。ヒョイヒョイと2人3人と交わしていく姿は、好調を維持出来てるなあ。庄司悦大の一発レッドカードのシーン。現地では「？」って思ったけれど、DAZNで見返すと、タイミングが遅れてしまったし故意でも悪意でもないと思われるけど、鳥取・重松健太郎の足を踏みつけてしまってるんで致し方なしかと。レフェリーの目の前で出来事だったしね。当然ながら次節は出場停止。この穴をどう埋めていくか。

ともかくしっかりした守備から攻撃に繋げるといふ狙いができつつあるのは良きこと。6月無敗、7月勝ちなし、8月無敗と浮き沈みが激しいので、9月はまだどうなっていくのか不安ではあるところ。なんせよ一戦一戦大事に戦っていくのみ。鳥取に移籍した富樫佑太の元気な姿を見られたのは良かったね。(岐阜の誇り)

●最近、昼間まで猛暑→積乱雲が発達→夕方にゲリラ豪雨……が多くなってきたと感じる季節。台風も相まって各地に被害も出ており、心からお見舞い申し上げます。さて、試合開始前に(天気予報の)雨雲レーダーをチェックしたら、キックオフ前後にヤバい雷雨の予報が……。豪雨だけならサッカーは開催しますが、雷雨となるとダメ。こりゃ今節は中止か？と正直思ったし、キックオフ直前のドス黒い雲が渦巻く空の景色ときたら…それでも、風の影響で雷雨が目の前で逸れて、なんとか開催できたのは(今後の日程が過密になることを考えると)本当に良かったです。

さて、アウェイで2連勝して、これでホーム戦でダメな試合をする不安…は杞憂に終わり(苦笑)、今節も好調を維持する岐阜の選手たち。縦にボールを運ぶのが速く、そしてサイド攻撃と中央突破を組み合わせてシュートを狙う。すると前半24分、#14 生地慶充のCKをファーで狙っていた#8 窪田稜が決めて先制点！おいおい、いつからウチは『セットプレーで点が獲れるチーム(=強いチームの特徴)』になったんだ？(苦笑)そして、すぐ前半28分には、#45 ンドカが左サイドから出したアーリークロスを相手DFがクリアミスしてOWNゴール。#45 チャーのボールも良かったし、そこに#8 窪田が走り込んでたから生まれたOG。僕が少し気になったのは『あれ？#45 チャーも順足(利き足と同じサイド)の方が良くない？』と。もちろん他の選手との相性もあるけど…。そして、後半55分には、今度は(右足でのシュートだったけど)正真正銘、#45 ンドカのゴールで3点目！これで試合は決まったかと思ったんですが…忘れていました、古参岐阜サポの格言『3点差は危険なスコア』(溜息)。選手交代でギアを上げてきた鳥取に1点を返され、これはマズい流れ……という時に、雷雨により中断。正直、僕は助かったと思いました(苦笑)。このまま中止は困るけど、雨雲レーダー見てたら、1時間後ぐらいには再開できそうだったし。だけど、再開しても流れがよくないのは、あまり変わらなかったですね(苦笑)。#7 村田透馬が決定機のシュートでバーを直撃して、そして#10 庄司悦大が1発退場して。ただ、あの退場は残念ながら妥当。完全に遅れてチャージに行き、それで相手の足首辺りを踏んづけてるから、故意と採られても仕方ない。一方で、あの時間帯に動けなくなってるんなら、交替させないのは上野監督の采配ミスだなあ……とも思いました。なお、そのトラブルの際、#40 川上竜が飛び込んでって選手たちを戻らせてプレーに集中させてたのは、注目に値する行為でした。

この後は、鳥取の猛攻をなんとか守り切って3-1で勝利。いやー、やっぱり勝つって簡単じゃないですね。その分、2ヶ月ぶりのホームでの“HYPER CHANT”の甘美なこと！でも、何度だって歌いたい。もちろん今節も。(ささたく)

●快勝！……とは言わないけど、決定力はあったよね。やっぱり、セット・プレーから取れると違うよね。リョウはよくぞ押し込んでくれました。それと、ボクの見たいには、長野戦に続いてトーマがキレキレだったように見えました。まあ、ただ、直撃芸(バー&ポスト)をなんとか、こう、もう少し、手心……というか。あんなに思いっきり蹴らなくてもよくないか？(苦笑)あとは、3点目をしっかりと決め切ったこと。コレに尽きる。出来れば、完封して欲しかった。雷による中断もあったけど、集中を切らず、よく耐え抜きました。前節は試合前だったけど、今回は中断だからね。ホント、キックオフ前から怪し過ぎる空模様でした。ヘタすると、第六天魔王が降りてきそうなヤツ。聞くところによると、8月に雷で2試合延期になったクラブもあるらしい。ウチは、まだイイ方かな。

さて、次節の鹿兒島戦は庄司が欠席。厳しい判定と思ってたけど、故意じゃなくても踏みつける形になっちゃったからね。J1であった事故みたいに、足裏でやっちゃった感じのプレイには須く赤紙が出されるのかも……？とにかく、庄司の不在は心配だけど、楽しみでもある。今後に向けての試金石。天気もなんだか、回復してきたっぽい。

それにしても、やっぱり、12番目の選手がいると有利だね(2点目)。少なくとも、今季一番のダイビング・ヘッドだったよ。ありがとう！あんなに鮮やかなヤツ、久々に見た。ウチの選手達も見習ってください。(ぐん)

●「上野さんはホームでは柏木をスタメンで使うのでは？」と結構本気で思っていましたよ。そうでもしないと、7月の柏木スタメンFWが説明つかないのです。結局、そうはならずに安心したのですが。

内容的には「勝ちに相応しい内容のチームが勝った」という試合に見えた。やっぱりクリーンシートってむずかしいね……でも、いまはそのあたりは犠牲面としてチームを動かしているっぽいところはある。やっぱり、いまの岐阜は軽くボールを動かす方が攻撃がスッキリする気がする。それでリードを奪えたら、相手が仕掛けてくるところに柏木投入で落ち着かせる、という。

庄司の退場については、DAZNで見れば見るほど納得。というか、重松かな？大きなケガにならなくてよかった。あれ、踏みつけた場所がもう少し膝側だったらスネがバキッと曲がって折れてもおかしくなかった。サスペンドは1試合で済むでしょうし、既に警告3枚状態らしいから、「庄司不在」はいつか来る事態だった。

あと、これは声を大にして言いたいんだけど、岐阜のゴール裏が変わった。あの退場判定、いままでなら「問答無用！審判は敵だ！」とばかりに審判をとにかくヤじる『長良川競輪場モード』になって、それがメインスタンドにも伝わって会場全体がめちゃくちゃ陰悪になっていた(結構確信)。でも、この試合ではヤマヒロが警告を受けた時以外は大丈夫だった。なんでも、コールリーダーが「文句言うのは(試合が)終わってからでいい」と周囲をまとめたのだそう。素晴らしいことだ。(吉田铸造)

【第25節】鹿児島2-1岐阜

●今季初の4連勝が掛かった試合。#10庄司が有休なので、上野監督が誰をスタメンに起用するかが注目されていたと思う。んで、選ばれたのは#42 柏木陽介。非常に残念ですがこの時点で、僕はイヤな予感がしていたことを申し上げます。これまで今季の調子が良い時の岐阜の攻撃は、良くも悪くも中盤での繋ぎを簡略化(省略)して前に速くボールを出し、カウンター攻撃を主体として点を獲る戦術。そこにベテランの#42 柏木をスタメンに入れて機能するのか？後半に両チームとも運動量が落ちてきた場面で、ボールを落ち着かせたりスルーパスを出す方が適任なのでは？と。上野監督は、やっぱり中盤の底にベテラン選手を置きたがるなあ……。

そして、これもまた非常に残念ながら、この悪い予感が的中する。これまでDFラインから大きく縦に出されていたボールが、#42 柏木に頼ってボールを預けるので、前への推進力が落ち、相手DFが戻りやすくなる。そして、中盤では#42 柏木にボールが集まるところを複数の相手選手が狙い、奪ってカウンターに繋げる。マークが#42 柏木に集中しているのだから、あえて囷にすれば良いけれど、そういうプレーまでには至らない。そして、チーム全体としても運動量が不足していたように思う。あるいは直近5試合1勝1分3敗で、昇格戦線から脱落しかけていた(そして監督交代も経験した)鹿児島の選手やサポーターの気迫の方が、残念ながら勝っていたのかもしれない。サイドも中央も何度も突破され、シュートを撃たれる。つまり、これまで勝った試合で岐阜がやっていたことを、鹿児島にやられた形だ。#1 GK 茂木秀のファインセーブ連発で、なんとか最後で防いでいたものの、足が止まりかけた前半ATに失点……。まあ、1点だけならまだいい。ここで、岐阜のキックオフで再開したのに、すぐにボールを奪われて再び失点するのは、本当にチーム全体で猛省して欲しい。あまりにも勿体ない失点だ。後半になっても、岐阜の攻撃は修正できず、ボールは保持するがシュートまでには至らない。これもまた、負けた試合での岐阜のパターンだ。選手を4人交替してから、ようやく攻撃が機能し始め、後半84分に#16 久保田和音のFKを#39 遠藤元一が押し込んで1点差に。その後も惜しい場面は何度か作るものの、気迫ある鹿児島の守備に阻まれて、このまま試合終了。またしても4連勝は達成できなかった。

非常に幸いなことに、富山さんがJ3リーグを盛り上げようとしてくれているようで、足踏みして待っててくれる。鹿児島に勝てば抜かせたのに、2位になれたのに……(溜息)。そして、鹿児島にも再び順位で抜かれた。この悔しさ、反省をチーム全体で共有して活かしてほしい。

光明があるとすれば、これで3試合連続セットプレーで得点していることだろうか。これがチームの武器となって、苦しい試合でも勝ち抜けるようになって欲しい。(ささたく)

●九州は陽が落ちるのはゆっくりで、遅い時間まで明るいんだけど、白波スタジアムを吹き抜ける海風は心地よく、長良川に比して体感温度で5℃は違うんじゃないかって気がするね。実際、最高気温は3℃ほど違ってた模様。やっぱり、海があるっていいなあ……。なんて、そんな感慨に浸っていたのもキックオフ直後までだった。

なんというか、昇格するクラブでもシーズンに一回くらいはこんな試合はあるんじゃないかな？と思うけど、ウチの場合はこういうの何回も見覚えがあるからねえ。だからこそこのコノ成績なワケですが……。え？まだ、7位なの？昇格圏との差も1ゲーム？ラッキー！としか言いようがない(苦笑)。精一杯にポジティブな表現をすれば、序盤は悪くなかった。チャンスの数はウチのが多かった。ただ、いかんせん、シュートが撃てない。そこまで至らない。そうこうしてるうちに、鹿児島がシュートを撃ち出し始め、コレがまた枠内の厳しいやつで。モギシューじゃなきゃ3点は決められてたな。

とにかく、中盤をほぼ省略。最終ラインからのロングボールが米澤、藤本に。必死に防いでスコアレスで……という時に先制点を奪われて。でも、まあ、しゃーない、と思ってたら、スルッとサイドから抜け出されて失点。なんで、集中切れてたんだろ？

ただ、この点差は、リードしてる方が受け身になり、負ける方は圧力掛けて攻めるから、僅かなキッカケで潮目が変わることあるし、と期待してたんだけど、どうにもこうにも、ちつともエンジン掛からない。逆に相手がイケイケで。モギシューじゃなかったら(以下略)。

なんか、コンディション調整、ミスったの？というくらいに動きが悪かった。特に陽介。らしからぬボール・コントロールにトラップ・ミス。まだ、コンディションが戻ってないのかな？ボクには、後半最初からでも交替した方が良いように見えたよ。庄司不在でスタメンはしかたないけど、なんで、アソコまで引っ張ったかな？あと、リョウを下げるより、オイちゃんを陽介の位置に上げて、SBに歩夢でもよかつたんじゃないか。コチラの運動量増やして、相手に圧をかけていくべきだ、と。でも、ボク程度の素人が考えることなど、プロの監督なら、とうの昔に考えてるわね。

ラストの15分くらいで、ようやく、エンジンあつたまって、相手が守備固めに入ったこともあるけど、セット・プレーで1点返すところまではイケた。あわや、同点？になりそうな場面も作つたけど、そもそも、90分の試合を15分でなんとかしようとするのがオカシイ(してないだろうけど)。最初から、とは言わないが、もっと早くから出来ないだろうか？やっぱり、コンディションがうまく調整出来なかったのかな？さすがに、モチベーションがあがらなかった、はないだろうし。白波スタジアムは3度目。最初が雷で中止延期、次が平日代替え試合のサヨナラ負け、そして、この試合。せっかく、夏季休暇をぶち込んだのに、なんか、ボクが来たからダメだったのか？と凹むような展開だけど、そもそも、何から何までうまくいくなんてのは難しい。逆に、ケチがついたのが夏休み最後の夜ならマシな方だ。いつぞやの、本城での北九州戦の時なんか、夏休み初日に手痛い負けを食らって、翌日以降のイベントでは「こんなとこで何やってんだ？オレは。」みたいな思いで終始したからね。それよりは遥かにマシだよ。こんな程度でいちいち凹んでたら岐阜サポなんかやってられんわ(笑)。

ま、改めて、長良川から仕切り直し。ココ、大事。頼んだよ！(ぐん)

●出場停止の庄司のところには柏木。うーん……うーん……これ、「柏木が信頼を得ている」んじゃない、と思いたい。庄司不在の際には柏木をサブに置いておけないということ。今季の岐阜は天皇杯はほぼ「別チーム」としてメンバーを組んだ。その「天皇杯チーム」にいた北は「主戦チーム」に抜擢され結果を出している。こういうとこだぞ？>カズネ。

「この試合で勝っておけば2位だったのに」とは思うよ。でも、競輪レースで喩えれば、昇格争いで重要なのはゴール線で2着以内にいることだ。上位との直接対決だつてぎょうさん残してるし、それにいまの岐阜がリーグ戦の途中で2位になって「追われる立場」になってうまくいくとは、とても思えない。そういう立場になったら、上野さんは躊躇なく柏木をスタメンで使うと思うし(苦笑)。(吉田铸造)